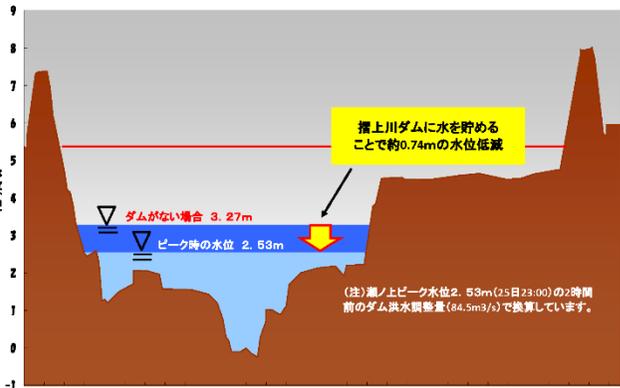


# 阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (令和元年10月25日～26日 低気圧)

○低気圧の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約11mmとなるなど、10月25日5時頃から26日7時時点までの累加雨量が61.5mmに達し、ダムへの最大流入量は124.3m<sup>3</sup>/sを記録しました。

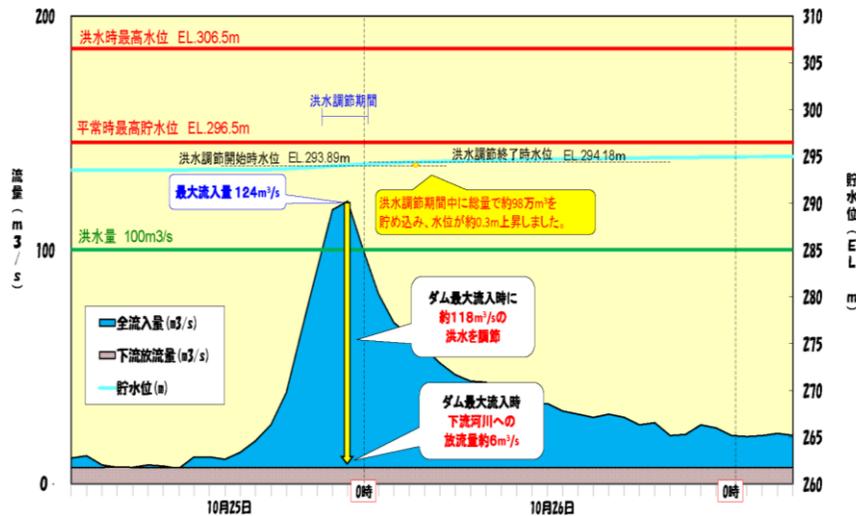
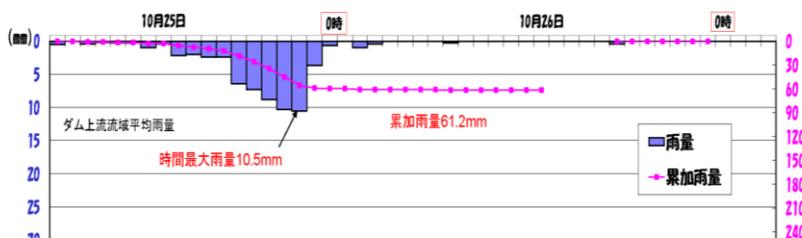
○今回の防災操作（洪水調節）では、摺上川ダムに流入した洪水のほぼすべてを貯留し、洪水調節期間（25日21時20分～26日0時10分）の貯留量は約98万m<sup>3</sup>（東京ドーム0.8個分）になりました。

## 瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)

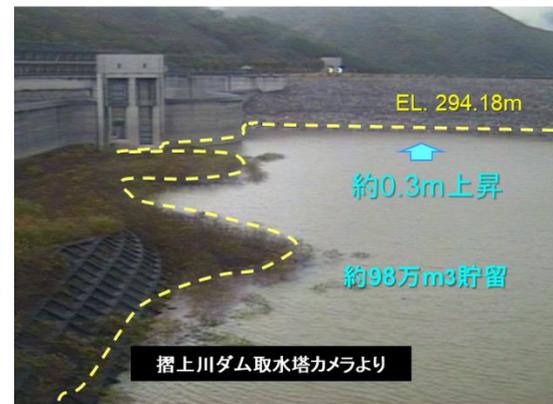


約0.74m水位を下げる効果があったものと推定されます。

※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。



洪水調節前のダムの状況  
10月25日



貯水位 EL.293.89m